



世界へのプレゼントになろう

帯広西ロータリークラブ

会報

第2135回例会

2016.4.28



■RI第2500地区テーマ■

もっとロータリーを楽しみましょう



■クラブ・テーマ■

大切な人にまごころを贈ろう

会長報告

大友広明 会長

週3回必ずスタバに通う聴覚障害の男性に店員が一枚のメモを手渡した・・・そこに書かれていた内容のお話を致します。方針でも有ります。とても真心のあるお話です。



世界各国に進出している、知る人ぞ知るコーヒーストア。日本にも数多く店舗を構えており、その数なんと1165店舗もあるのだそうです。スターバックスの人気の理由は、コーヒーの美味しさはもちろんのこと、サービスの質やホスピタリティの高さではないでしょうか？そんなスターバックスに週3回通う、アメリカのバージニア州・リーズバーク在住のラビーさん。彼は聴覚に障害を抱えており、注文をするときは携帯電話に文章を打ち込み、それを店員に見せるという方法をとっていました。そんなラビーさんがいつものようにスターバックスに訪れたある日のこと。一人の女性店員がラビーさんに一枚のメモを手渡したのです。そこに書かれていた内容を読みラビーさんは感動し、その時の心境とメモをFacebookに投稿。すると瞬く間に大反響を呼び、現在2万2000いいねと5000を超えるシェアがされることに。この女性店員から、もらったメモには何が書かれていたのでしょうか？「あなたがほかのお客さんと同じように過ごせるよう、手話(ASL)を習っています。」そう書かれたメモを手渡されたラビーさんは驚きました。すると、女性店員は目の前で手話を始め、こう尋ねてくれたのです。「ご注文の品はお決まりですか？」頻りに店に訪れるラビーさん耳が不自由な事を知っていた女性店員。彼女は

ラビーさんとコミュニケーションを取るために、手話を勉強してくれたのだそうです。この出来事に対し、ラビーさんは、「私の耳が悪いということを知り、私のために手話を習っていてくれたなんて・・・信じられない」と心から感動したといえます。「全てのお客様に、気持ち良く過ごしてもらいたい。」この女性店員が優しく、ホスピタリティに富んだ人だということが伝わってきます。人はこういったメッセージや声かけだけでも嬉しく感じるものです。一人のお客様のためにここまでできるなんて、とても素敵なお方ですね！誰かを思いやる気持ちは人に笑顔をもたらすということを改めて実感する、そんな心温まるエピソードをご紹介しました。

会務報告

太田 豊 幹事

①帯広RC、4月27日(水)の例会は、休会と致します。

帯広北RC、4月29日(金)の例会は、祝日のため休会と致します。

帯広南RC、5月2日(月)の例会は、休会と致します。

帯広東RC、5月3日(火)の例会は、祝日のため休会と致します。

帯広RC、5月4日(水)の例会は、祝日のため休会と致します。

帯広西RC、5月5日(木)の例会は、祝日のため休会と致します。

帯広北RC、5月6日(金)の例会は、休会と致します。

②帯広北RC、夜間移動例会開催のご案内

日 時 5月13日(金)午後6時30分

場 所 ジグザグ



会 長 大友 広明
幹 事 太田 豊

副会長 若林 剛
副会長 萱場 誠一

会場監督理事 飯田 正行
プログラム委員理事 松見 喜明

発行：広報委員会
委員長 工藤 正宏 (副)伊東 肇



例会日/木曜日 12時30分～13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)
創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル4階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033

③帯広北・帯広東・音更、3RC合同植樹祭開催のご案内

日時 5月22日(日)午前10時

場所 北海道立十勝エコロジーパーク

※尚、帯広RC、5月20日(月)の繰下げ例会と致します。

帯広東RC、5月24日(火)の繰上げ例会と致します。

④帯広西RC、夜間例会のご案内

日時 5月26日(木)午後6時30分

場所 北海道ホテル

ニコニコ献金 親睦活動委員会 熊切宏樹 会員

大友 広明 会長

先週、土、日曜日北見の地でPETS地区協議会に行ってきました。ゴルフでは残り3ホールで冷たい雨が降り大変でしたが、夜の懇親会では楽しく盛り上がりました。古田丸、いよいよ出航準備ですね。



古田 敦則 会員

地区協議会に多くの会員の方に出席頂き有難うございました。

谷脇 正人 会員

申し訳有りません。仕事で例会お休みさせていただきました。4月23日～24日北見での地区協議会ご参加頂きました、皆さま本当に有難う御座いました。今後も宜しくお願い致します。

工藤 正宏 会員

本日担当例会です。宜しくお願い致します。

萱場 誠一 会員

先日の北見PETS地区協前日の西クラブプライベートコンペで優勝致しました。有難うございます。

熊切 宏樹 会員

弟の「ディアスポリス」が4月17日TBS深夜2時からスタートしました。9月には映画が公開されます。

熊切 宏樹 会員

長男が工業高校に入学しました。

ニコニコ 献金	4月28日	15,000円
	累計	666,661円 (4月28日現在)

プログラム

広報委員会 工藤正宏 委員長

「会報について」



本年、広報委員会委員長を仰せつかっております工藤でございます。

さて本年、広報委員会では従来の会報による広報活動に加え新たな試みとしてFacebookによるSNSを活用した広報活動を行っております。Facebookにつきましては前回の担当例会で十勝毎日新聞社の伊東メディア局長にお話していただきましたので今日は会報について若干お話をさせていただきたいと思っております。なにぶんロータリーの経験値も浅く、まだ一年の任期を全うしておりませんが今日まで広報委員長として勉強させていただいたことに加え広報活動で感じたこととお話させていただければと思っております。

まず第一部、「会報ができるまで」と題しまして会報作成の手順を苦労話なども加えながら説明させていただきます。

●例会担当の割振り

本年、広報委員会は総勢10名、ベテラン会員の方々に支えていただいております。極力ベテラン会員さんにはパソコン作業負担の少ないと思われる例会を担当していただき、若手会員さんはそれ以外の例会を担当していただくことでまんべんなく会報作成に携わって

例会担当の割振り

※年度初頭



いただけるよう配慮いたしました。

●原稿の依頼

各例会の一週間前には各委員長さんから原稿をいただき、たいへん助かっております。

●原稿の転送

毎週、火曜日には事務局から次例会のプログラム内容がメールで届き、例会当日の午前中には大友会長より「会長報告」の原稿がメールで届きます。これを、その日の例会担当者にメール転送し、会報作成の準備第一弾が完了となります。

●Facebookに投稿

次例会の、日時や場所、プログラム内容をFacebookに投稿することで事前に例会への興味を持っていただき出席率向上のお手伝いをさせていただいております。

●例会当日

例会では会報作成用に開会の点鐘から閉会の点鐘まで、例会時の音声をUSBメモリーに録音しておりますが、これを北海道ホテルさんの方に預けます。

●例会写真の撮影

例会中、会報用の写真を撮影するのですが、例会担当者とは別に、毎回わたくしも撮影に入りますので、皆様からすると「なんで二人も写真撮ってるんだ?」と思われるかもしれませんが、ひとりには会報用の写真、そして私はFacebook用の写真を撮影しているというのが理由です。

●Facebookに投稿

例会中、今まに行われている例会の内容をFacebookに投稿し、已む無く欠席されている会員の方にリアルタイムで臨場感あふれる広報を提供しております。

●例会終了

例会終了後、次の例会の原稿依頼を担当委員長にすることで、会報作成手順の最初のループに戻ります。

●原稿作成

- 1)まず事前に受け取っていた例会メモや会長報告文を貼り付けます。
- 2)次にニコニコ献金の内容を手入力します。
- 3)当日のニコニコ献金総額と、これまでの累計金額を計上します。
- 4)プログラム内容の入力ですがプログラム内容の原稿がword書式である場合は先程と同じくコピーで済みますが、ない場合は例のUSBメモリーに録音された音声を聞きながら一字一句手打ちするという地獄の作業に突入いたします。
- 5)次に会報に掲載する写真の選定に入ります。
- 6)そして出来上がった原稿を大同出版紙業さんに提出します。
- 7)数日後、メールで会報の原稿が届きますので内容や構成を確認し、間違いがなければ印刷作業に入り、皆様のお手元に届くというのが会報作成の全手順となります。

以上で会報作成の手順を苦労話なども交えてご説明いたしました。

例年そうなのかもしれませんが本年の広報委員会、ベテランの会員さんから入会浅い会員まで、還暦を迎えながら若手と位置付けられながらパソコンの扱いが得手も不得手も関係なく、頼りない委員長のために最大限のご尽力賜っておりますので皆様方には今後とも広報委員会へのご理解とご協力をお願いいたします。

続きまして第二部に入らせていただきます。

過日、広報委員会では会員の皆様に次のようなアンケート調査にご協力いただきました当日の出席率94%、回収率66%、よって回答率62%としてアンケート結果の報告をさせていただきたいと思っております。

1)過去に会報を作成したことがありますか

70%以上の会員の方が経験ありという結果となっております。では70%以上の方が会報作成のご苦労を経験されている中、会報はどのくらい読まれているのでしょうか？

2) 会報購読の頻度について

結果としては「必ず読む方」という方が23.8%、「時間があるときには読む」という方が大多数の61.9%「ほとんど読まない」と正直にお答えくださった方が11.9%ということで、残念ながら会報はあまり読まれていないようです。

3) 会報綴りバインダーの活用について

ここでは約3割の方が会報綴りのバインダーをあまり活用されていないことがわかりました。

4) 会報の保管期間について

結果についてはグラフのとおりとなっておりますが、ここで何を抽出したかったかと申しますと会報は議事録としての側面もあるため、しっかりと記録しておく必要があるのかもしれないということです。

5) 過去の会報が必要になったとき

やはり多くの皆さんは必要に応じて過去の会報を閲覧していらっしゃるということがわかりました。つまり会報は皆さんのお役に立っているということではないでしょうか。

6) 会報は必要だと思いますか

ここまでのアンケートでは約7割の方が会報作成に関わっている反面、約半数の会員の方があまり会報を読まれておらず、かつ3割の方がバインダーさえ活用されていないという会報の購読率と委員会の作業負担のアンバランスがうかがえる中必要か否かという問いでは約6割の方が必要であるという結果となりました。

7) 会報誌についての意見

まとめ

広報委員会の委員長をさせていただいた中で感じたこと、それは本年に関わらず、例年の広報委員会、親睦活動委員会もそうですが非常にマンパワーを要する委員会だと思います。一人でも多くの委員会メンバーのご協力がなければ、一年間全うできるものではありません。本来であれば歴代会長や過去に広報委員長を経験された大先輩に会報を作らせるなどタブーなのかもしれませんが本年、当委員会の皆さんは快く会報作成のお手伝いをしてくださっており、これぞまさにロータリーの絆なのだ実感しております。

会報が必要か否かでいえば私の答えは会員同士のコミュニティーツールとして、または回顧録として必要であると考えています。そのうえで予算的な観点から言えば、必要な方だけが例会時に貰っていく形にするとか、もしくはHP上からダウンロードする形にするなど印刷代を軽減した分、予算をHP管理費にスライドし、きめ細やかな情報の一元化を図ることもできるでしょう。また紙面の充実化を図るのであればプログラム内容については担当委員長さんから想いの強い部分を原稿として提出にしていたとか、会報作成作業の時間的余裕を増やすために会報発行を毎週ではなく、隔週や月報、年報といった形にすれば中身の濃いものになるかもしれないなど時代に即した方向性、可能性を持っているのが会報ではないでしょうか。

いずれにせよ会員の皆さんに求められる会報、必要とされる会報を模索していかなくてはなりません。本年、広報委員会の委員長をさせていただき、様々な気付きがございました。ロータリアンとしての経験も浅く、年齢も下からのほうが早い私だからこそ感じたことを会報作成という切り口で述べさせていただき、お聞き苦しい場面もあったかと思いますが、これで私の話を終わらせていただきます。

皆様、ご清聴ありがとうございました。

[お知らせ]

5月のロータリーレートは、\$1=110円です。

次週プログラム予定

5月12日(木)「下半期活動報告、会員増強ご協力お願い」(青少年奉仕委員会)
帯広ローターアクトクラブ 会長 道見賢人様